

343

第35号 通巻第7巻5号

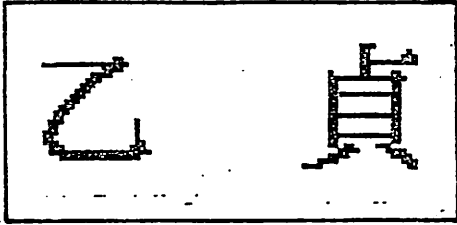
1987年9月1日発行

守山市立埋蔵文化財センター

TEL 0775-85-4397

(524-02)

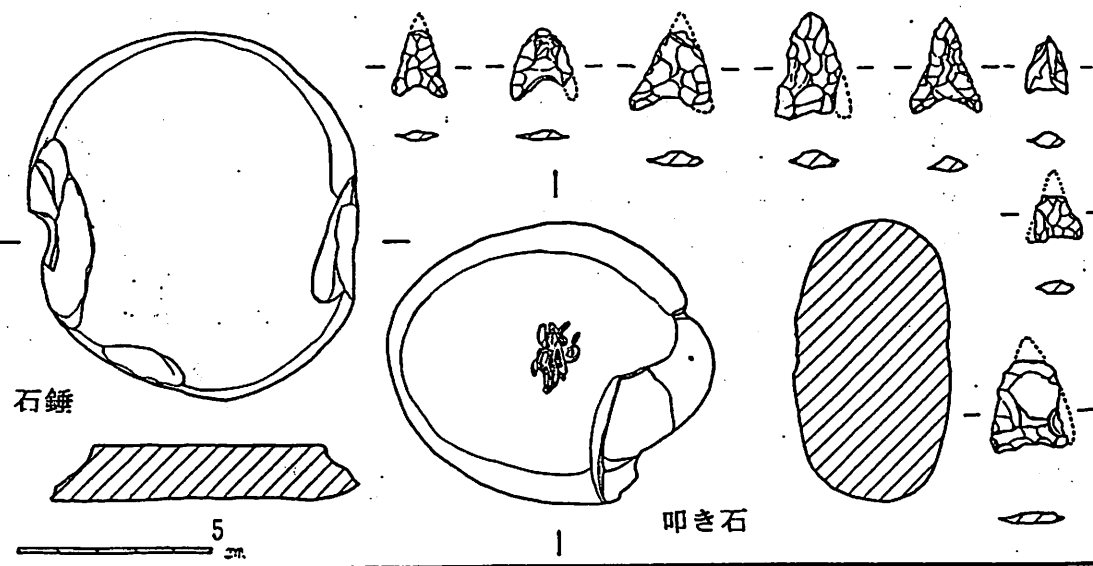
滋賀県守山市服部町2250番地



8月の残暑も比較的しのぎやすく過ぎてしまいました。9月に入り急に秋めいて、芸術文化に親しむ好季節に向かっていきます。本号の発行が遅れましたがその間に沖縄で金環蝕がみられるなど、貴重な体験をなされた方も多かったと思います。市内の埋蔵文化財調査の動向を略報告します。

縄文時代後期の遺跡

守山町地先〔守山警察書北隣〕で宅地造成工事に先立って調査を行っている吉身西遺跡では、この程縄文時代後期の遺構や遺物が発見されました。土地は上層に古墳時代〔4～5世紀〕の住居跡があり、約40cmの下層に縄文〔約4000年前頃〕の住居とおもわれる跡がみつき、鋭意調査中です。これまでに多量の土器や石器が出土しています。図に示したものは、石の矢じり各種と石錘〔網のおもり〕、そして叩き石〔石を加工するとき叩く〕で、まだまだ続々と出土しています。また、矢じりをつくる時にできる石のくずも多量にあって、そのほとんどがサヌカイトと呼ばれる硬い石で、大阪の二上山付近でとれる石を使っていることがわかっています。

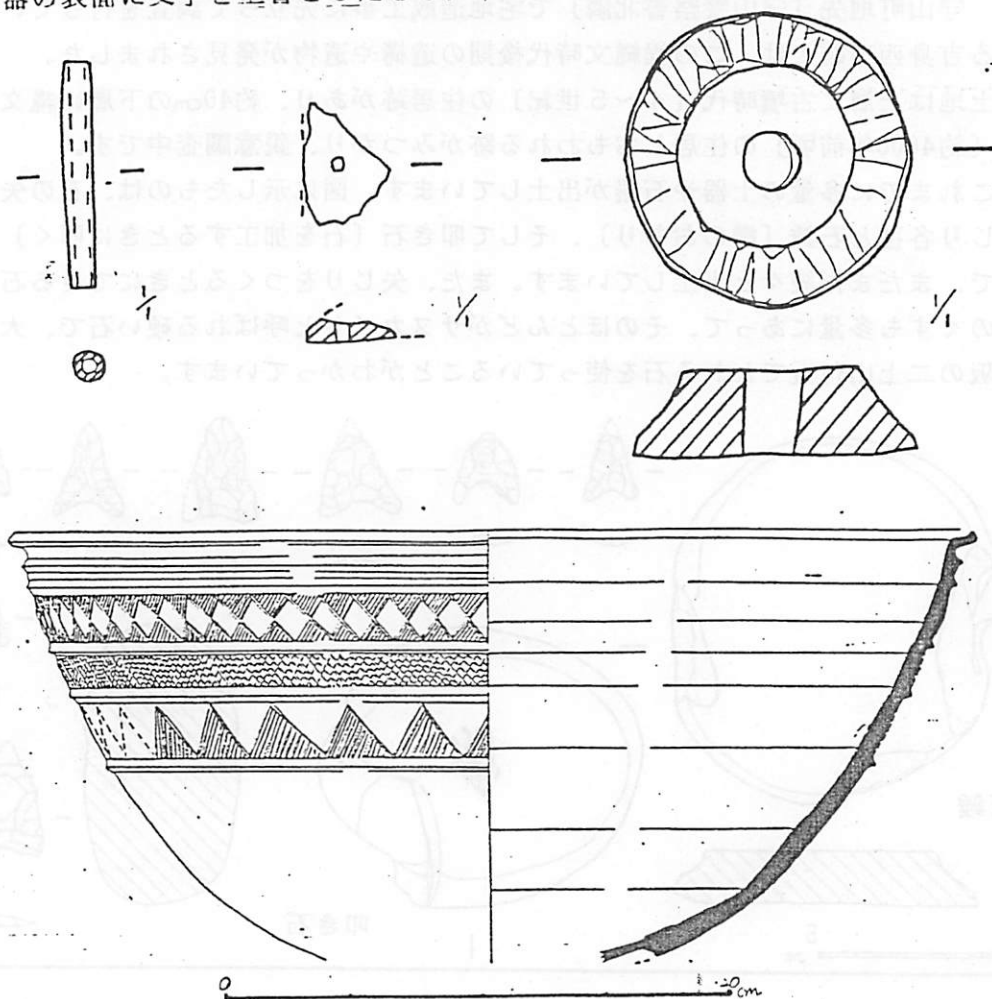


川田川原町遺跡 9月1日～着手

川田町の北西端から新しく道路が設けられるのに伴い、市教委が発掘調査を実施しているもので、約1800㎡を対象にしています。

水田下の約60cmの深さで多量の遺物が出土し、溝や柱穴と思われるものが発見されています。この中で、図に示したものは守山でも珍しい「器台」と呼ぶ須恵器です。大型の碗に長い脚をつけた土器で、脚は発見されていませんが、鋸歯文という鋸の歯の文様や、斜格子文と呼ぶ交差する線で飾られています。また、紡錘車、有孔円板など滑石で作られた石製品も出土しています。生活の跡は、長年の土の堆積作用で不明瞭なのですが、逆に土器を中心にした遺物は実に多量に出土しています。

なお、9月の後半になって調査区の一部で奈良時代はじめの溝が見つかり、そのなかから多量の遺物が出土し、木簡と呼ぶ、板に墨で文字を書いたものや土器の表面に文字を墨書きしたもの、木でつくったからすき〔唐鋤〕がある。



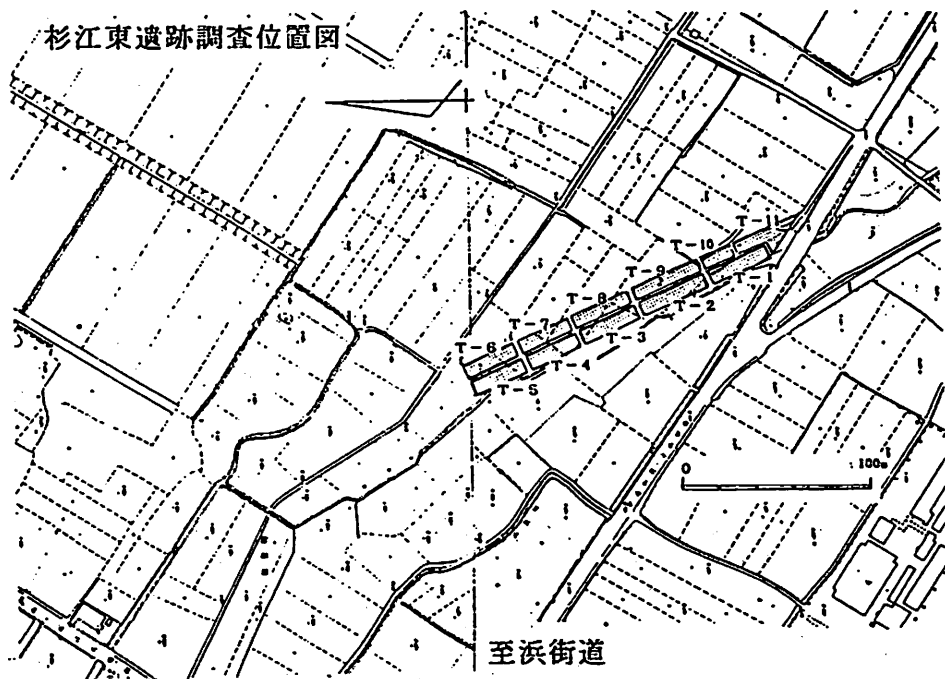
杉江東遺跡

7月中旬から進めている杉江東遺跡の概要について報告します。一昨年に実施された調査区より県道山賀守山線に向かって上流区4000㎡を調査中です。

前回の調査や試掘調査から鎌倉時代の集落跡である事が予測されていましたが、その通り鎌倉時代の掘立柱建物跡、溝等が検出されました。これらの建物は一辺30m以上の方形の土盛（整地層）上に数棟建てられ、中には4間×5間の大きな建物があります。この土盛は砂レキ層の上に高さ30cm程、客土したものでこの土の中にはたくさんの土器が含まれています。現在この様な土盛が4つ程検出されており、それぞれの土盛に掘立柱建物が数棟ずつ見つっています。これらの土盛と土盛の間には、南北方向の溝（幅約1m、深さ50cm）が3条検出され、これらの溝によって区画されていた事がわかりました。この様に調査が進むにしたがって、横江遺跡と同じく各々の家敷地を溝で区画する集落の様子が杉江東遺跡でも復元できる事がわかってきました。

これらの建物跡や溝からは、素焼の黒色土器碗や土師皿、緑釉陶器・青白磁などの陶器類の他に、柱跡や曲物と呼ばれる木製品が見つっています。

最近、鎌倉時代の建物や遺物の他に奈良時代の溝が検出され、多量の土器が検出されました。たぶん奈良時代の住居が、この溝の近くに存在する事が予想されます。



『特別展の開催予告』

11月18日〔水〕から、センターでは秋の特別展を開催します。今回は【黄 泉】と題して、縄文～平安時代の人々の死後の厚葬の風習をテーマに扱います。また、期間中には、草木を材料にして染色をする体験学習や、講演会も実施します。是非、足をお運び下さい。

縄文時代遺跡参考資料 守山市域

遺跡名	所在地	遺構	遺物	備考
播磨田東遺跡	播磨田町	磨消縄文の深鉢	地下約1.5	平地・後期
播磨田西遺跡	播磨田町	後期の鉢、晩期の深鉢、石斧		平地・後期
古高遺跡	古高町	石矢じり、磨製石斧		平地・後期
塚越遺跡	古高町	石矢じり		平地・後期～
川中遺跡	今市町	石矢じり		平地・後期
下長遺跡	古高町	縄文土器		平地・後期
吉身北遺跡	勝部町	注口土器、磨消縄文土器		平地・後期
横江遺跡	横江町	突帯文の深鉢		平地・晩期～
岡遺跡	岡町	突帯文の深鉢		平地・晩期
服部遺跡	服部町	突帯文の深鉢、壺、浅鉢、石斧、石矢じり		平地・晩期～
小津浜遺跡	山賀町	突帯文の深鉢など		平地・晩期
石田三宅遺跡	石田町	縄文土器		平地・中期～
赤野井湾遺跡	赤野井町	早期の土器、築石遺構、耳環など		湖底・早期～

編 集 後 記

乙貞を編集しおわってから、川田町で奈良時代の木簡・・・【稲一束必令持今】と書かれたものや、野洲・宮殿などの墨書きの土器が、また、守山町では縄文の遺物が多量にみつかるなど、いままでわからなかったものが次々と発見されています。詳しくは次号で！